

都市政策部の使命・役割を教えてください！

- ◇ 都市政策部は総勢 44 人、5 つのグループで構成された組織です。
- ◇ 都市整備グループ（10 人）は「道路、河川、公園、緑地等に関すること」、上下水道グループ（14 人）は「上水道、下水道に関すること」、地域産業グループ（8 人）は「農業、商業、工業、観光業務並びにコミュニティ・ビジネスの創出・支援等に関すること」、企業支援グループ（3 人）は、「工業用地の確保、企業誘致・支援等に関すること」、都市防災グループ（8 人）は「防災・防犯並びに交通安全等に関すること」に取り組んでいます。



都市政策部長 深谷直弘

- ◇ 市民の皆さんが安全で安心して快適に暮らせるための社会資本施設の整備を計画的に進め、その機能の維持・保全に努めます。防災・防犯・交通安全は、関係機関との連携を図り、市民の皆さんのご理解とご協力をいただき、各種の施策を実践し、災害、犯罪等に強い地域づくりを目指します。また、地域資源を活かした賑わいの創出、農業・商業・工業・観光の活性化への支援、工業用地の創出、企業誘致施策等の展開による雇用の創出など、まちに活力を生み出すための取り組みが使命・役割です。

平成29年度上半期の成果・課題を教えてください！

- ◇ 工業用地の創出を図る豊田町地区は造成工事が順調に進む中、9月初旬より愛知県企業庁により用地の分譲が開始されました。
- ◇ 高浜高校生のSBP事業の「Sの絆焼き型」を青森県の3つの高校より受注をいただきました。また、8月三重県で開催された「全国SBP交流フェア」において、三重県知事賞を受賞することができました。
- ◇ 防災リーダー養成講座のフォローアップ編では、「室内の地震対策」家具の転倒防止について実技も交えてノウハウを学んでいただきました。

平成29年度下半期に向けて、市民の皆さんへ一言メッセージを！

- ◇ 高浜芳川緑地多目的広場の一部供用に合わせて、施設利用者に配慮した道路の整備を進めています。少しずつ海岸付近の様子が変わっていますので、ご覧いただけると幸いです。
- ◇ 高浜高校生のSBP事業のSの絆焼き「うまどりちゃん」は、今後市内の各種のイベントで販売いたしますので、見かけたら是非お立ち寄りください。
- ◇ 防災対策の基本は「自助」、転倒した家具や割れたガラスでケガをしないことが大切です。是非、家具の固定、ガラスの飛散防止をしましょう。

■ 編集・発行 ■

高浜市役所 企画部 総合政策グループ

TEL 0566-52-1111（内線 339） FAX 0566-52-1110

E-mail seisaku@city.takahama.lg.jp

発行年月 平成 29 年 11 月



「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」をめざして

平成29年度

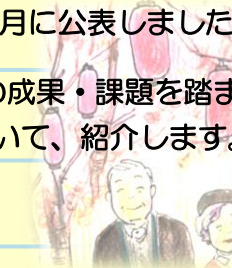
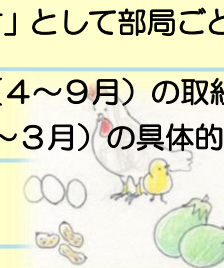
高浜市では、こんなことに力を入れて取り組みます！

都市政策部長の 実行宣言！

【上半期の振り返り&下半期のアクション】



- ◇ 高浜市では、「住んでよかった！」「いつまでも住み続けたい！」と思えるまちを目指し、行政だけでなく、市民の皆さんとともに、みんなで力を合わせてまちづくりに取り組んでいくことを基本姿勢としています。
- ◇ まちづくりの第一歩は、まちの課題を知ること、情報を共有することから始まります。そこで「今、高浜市ではどんなことが課題になっているのか」「そのために、市役所ではこの1年間で、どんなことを重点的に取り組んでいこうと考えているのか」といった取組項目や推進の決意を「〇〇部長の実行宣言」として部局ごとにとりまとめ、5月に公表しました。



◇ 今回は、上半期（4～9月）の取組状況と、上半期の成果・課題を踏まえた下半期（10～3月）の具体的なアクションについて、紹介します。

平成29年度 都市政策部では、こんなことに力を入れて取り組んでいます！【上半期の取組状況と下半期のアクション】

アクション 1

工業用地の創出を 着実に進めます！

【担当 企業支援グループ・都市整備グループ】

地域経済の活性化並びに地域雇用の安定を図ることが必要です。総合計画の土地利用方針に基づいた新たな工業用地の創出により、企業ニーズに応え、企業の立地を促進し、雇用場所の確保や税収の確保により財政基盤の安定化を図ります。

具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 豊田町三丁目地区は、造成工事の進捗を図るため、事業者の愛知県企業庁や工事に関係する機関と連携・調整を図り進めます。
- ◇ 小池町地区は、早期の造成工事への着手を目指し、開発主体の民間事業者との協議・調整を進め、事業実施に必要な都市計画などの手続きを支援します。

順調

順調

上半期を振り返って【成果・課題】

- ◇ 豊田町地区の造成工事は、関係機関のご理解とご協力をいただき予定どおり順調に進んでいます。8月末には地区北側の道路整備工事が完了しました。
- ◇ 小池町地区は、9月に事業実施に必要な都市計画マスタープランの一部改定の手続きが完了しました。

下半期の具体的なアクション

- ◇ 豊田町地区は区域南側の道路整備並びに洪水調整池等工事を関係機関と連携・調整を行い計画に基づき進めます。**平成30年3月までに実施**
- ◇ 小池町地区は、引き続き開発主体である事業者に対して必要となる手続きなどへの支援を行っていきます。**平成30年3月までに実施**

アクション 2

災害発生に備え、総合的、機動的な防災対応が図られるような取り組みを行います！

【担当 都市防災グループ・上下水道グループ】

大規模災害発生時、初期段階の行動がとても重要であり、皆さんがいかに連携・協力して被害の軽減につなげるのか、地域の防災対応力をより実践的なものとする必要があります。引き続き、そうした活動を地域で推進する人材の育成や事業者さんと連携した防災活動に取り組めます。

具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 地域（町内会・まちづくり協議会）との協働により、避難行動チェックリスト等の見直しを行い、地域の防災対応力を高めます。
- ◇ 災害発生時や配水関係施設の事故発生時の対応として、加圧給水車の配備を行います。
- ◇ 防災ネットきずこう会による、地域防災リーダー養成講座（フォローアップ編）を開催し、共助力の強化を図ります。

8月完了

順調

順調

上半期を振り返って【成果・課題】

- ◇ 避難行動チェックリストの見直しは、地域のご協力をいただき、既に完了し、8月15日の市広報に合わせて配布しました。
- ◇ 8月には加圧給水車配備のための車両購入を発注しました。
- ◇ 防災リーダー養成講座（基礎編）（避難所編）（フォローアップ編）を開催し、総勢132名の参加をいただき防災力の向上につながりました。

下半期の具体的なアクション

防災ネットきずこう会では、7月「事業所のための防災講演会」を実施しました。11月には、市内の企業さんに対して、自社の防災対策を考えていただく機会として、ワークショップを開催します。**11月までに実施**

アクション 3

計画的な社会資本施設の整備並びに施設の補修・修繕を行います！

【担当 都市整備グループ・上下水道グループ】

産業や生活の基盤となる施設の整備・修繕を計画的に進め、安全・安心で快適な社会基盤の確保を目指します。整備や修繕に必要なコストの平準化を意識し、特定財源の確保に努めながら事業を推進していくことが必要であると考えています。

具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 高浜芳川緑地多目的広場の一部供用にとまらない、施設利用に配慮するため、アクセス道路の整備を行います。
- ◇ 引き続き、道路、橋梁等の調査、点検結果に基づき優先度の高い路線から、舗装修繕工事等を進めます。
- ◇ 配水場（高浜・吉浜）の電気設備の更新を行い安定した水道水の供給に努めます。

順調

順調

順調

上半期を振り返って【成果・課題】

- ◇ 今年度の多目的広場へのアクセス道路の整備工事は、上半期末で約70パーセントの進捗率となりました。
- ◇ 舗装修繕工事の予定箇所の市道碧南高浜線の工事は8月に完了しました。
- ◇ 配水場の電気設備の更新工事は、6月に工事を発注しました。

下半期の具体的なアクション

- ◇ 本年度分のアクセス道路の整備工事は、予定どおりの完了を図ります。来年度の第2期目の整備に向けた特定財源確保のための調整を行っていきます。**平成30年2月までに実施**
- ◇ 引き続き、来年度事業予定の舗装修繕工事設計委託業務橋梁等の修繕の検討を進めていきます。**平成30年3月までに実施**

アクション 4

将来を見据えた産業の活性化、雇用の安定に向けた取り組みを進めます！

【担当 地域産業グループ】

地場産業である三州瓦の振興、販売の拡充には、災害による屋根瓦に対する風評被害の払しょくと販路の拡大を図る必要があると考えます。

若い世代のSBP活動は、地域資源を活かしたしごと創生に寄与し、将来の人材の育成等、まちの賑わいの創出にもつながると考えています。

コミュニティ・ビジネスの創出や継続には、担い手に対する段階的な支援が必要であると考えています。

具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 瓦製造関係組合が取り込まれる瓦の優位性のPR及び販売促進事業に対する支援を行います。
- ◇ 引き続き、高浜高校生のSBP（ソーシャル・ビジネス・プロジェクト）事業を支援し、更なる地域資源の活用と人材育成等に取り組めます。
- ◇ コミュニティ・ビジネスは担い手へのフォローアップ等について専門家による支援を行っていきます。

順調

順調

順調

上半期を振り返って【成果・課題】

- ◇ 鬼瓦の製造組合が取り込まれた伝統工芸品の指定を受けるための申請活動に対する支援を行いました。
- ◇ 高浜高校生のSBP事業は、三州瓦工業協同組合及び愛興工業(株)さんより応援をいただき「Sの絆焼き型」の商品化と営業活動がスタートできました。
- ◇ コミュニティ・ビジネスは、NPO法人起業支援ネットによる担い手へのフォローアップを行っています。

下半期の具体的なアクション

屋根瓦に対する材料の信頼回復、販売促進のための情報発信活動「三河の窯業展」への支援を行います。**平成30年3月までに実施**